

# 目かくりフェンス 遮音タイプ NBF-SY1型 (H2500・H3000)

# 組立説明書

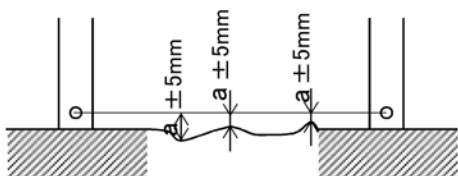
## ①柱の位置を決め、基礎を設置します。

- 柱間隔は柱芯々2050mmに割付けてください。  
延長方向に対しての垂直位置は各柱詳細を参照してください。

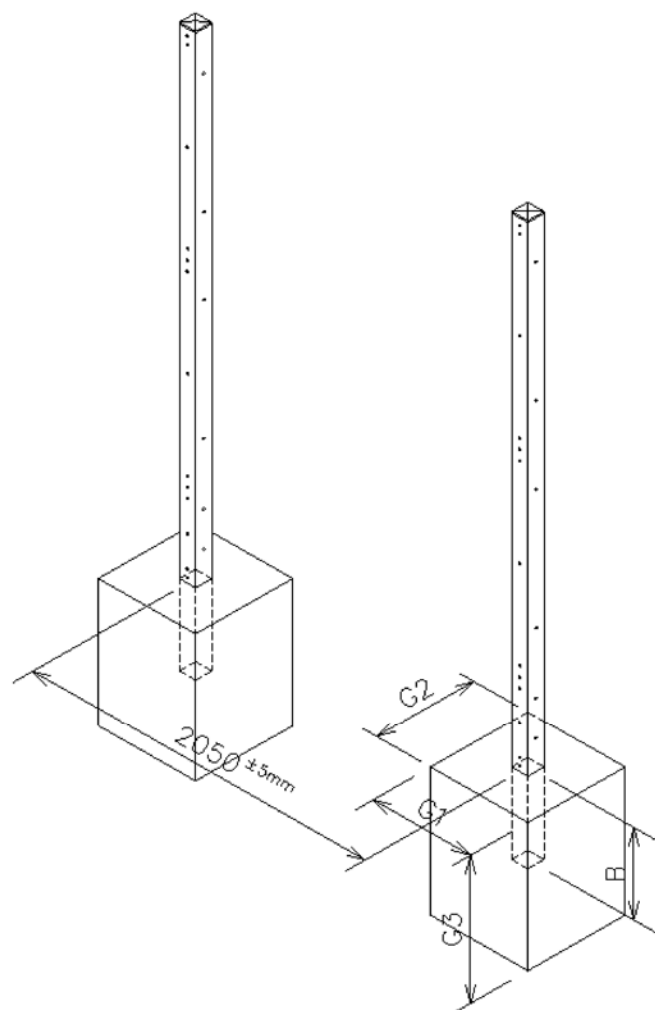
## ②柱を建てます。

- 基礎寸法及び埋め込み深さ

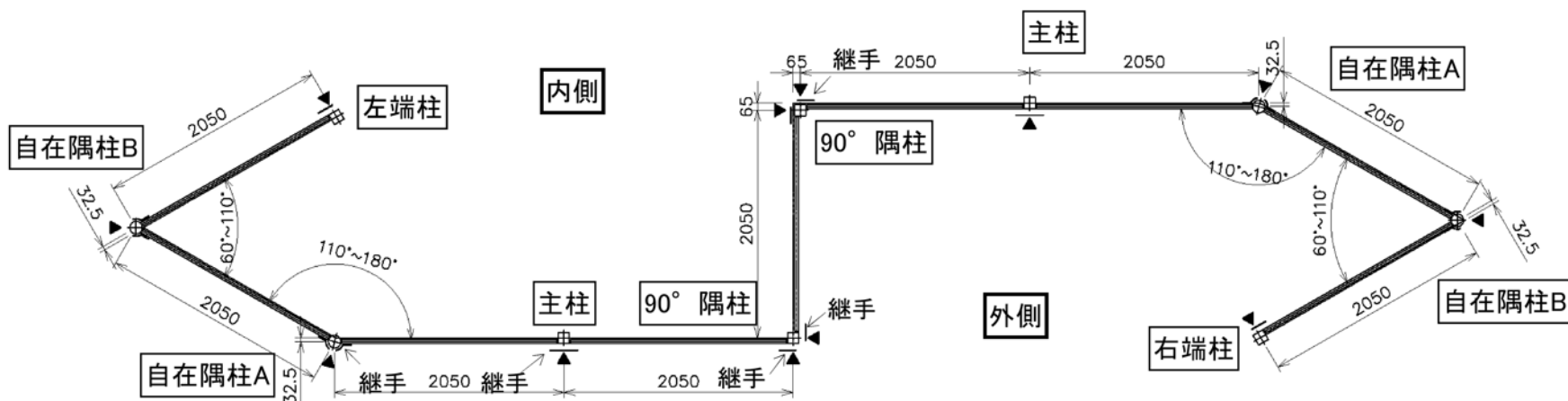
寸法 型式	基礎寸法 G1 × G2 × G3(mm)	埋込寸法 B(mm)	寸法 a(mm)
H2500	600 × 600 × 800	500	33
H3000	650 × 650 × 1000	500	33



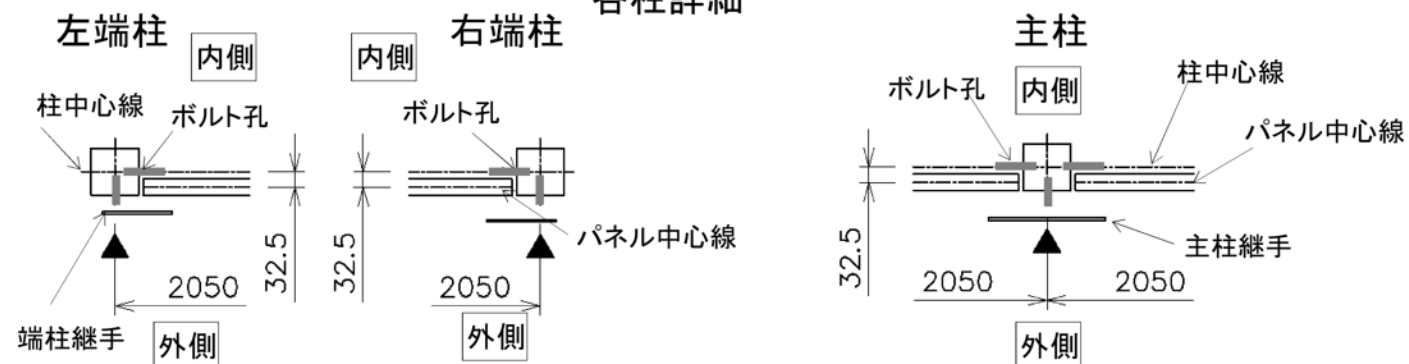
※支柱の最下部孔中心を結んだ線とGLとの距離はどの位置でも上表a寸法の±5mmになるように支柱の高さを調節して下さい。



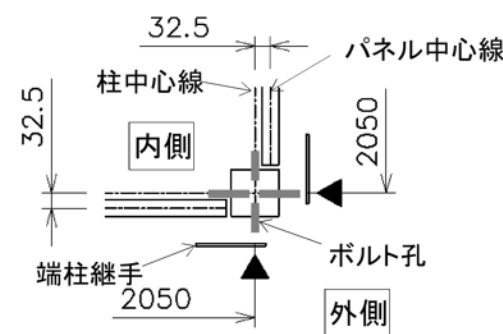
- 柱の正面方向はボルト孔の多い面です。  
但し、コーナー部は下図および柱詳細を参照して下さい。  
※ ▲は柱正面を表します。—および— は継手を表します。



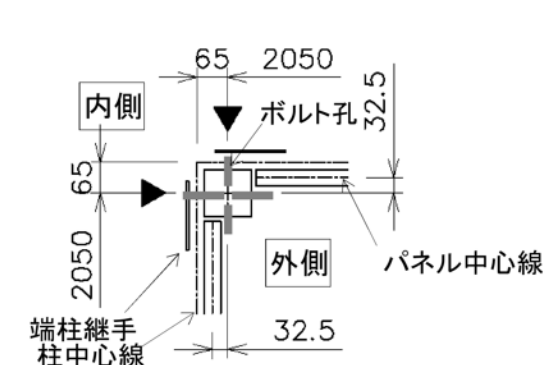
### 各柱詳細



### 90° 隅柱(出隅)

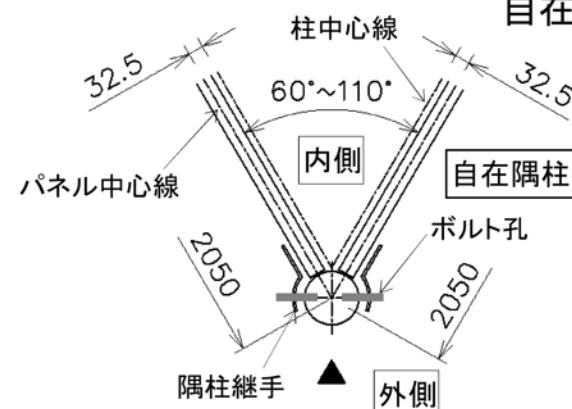


### 90° 隅柱(入隅)

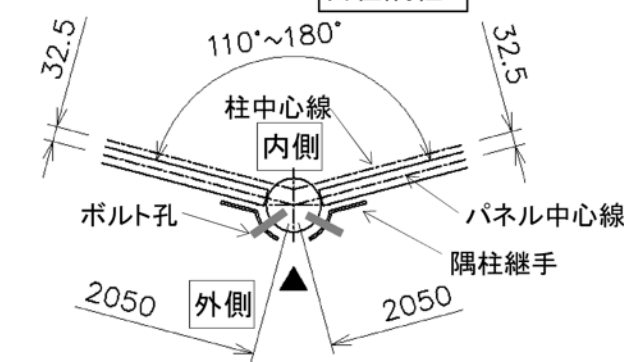


注) ・90° 入隅の場合は、柱中心線に対し65mmずれた位置が柱中心になります。  
・入隅の場合は、継手が内側になります。

### 自在隅柱(出隅)

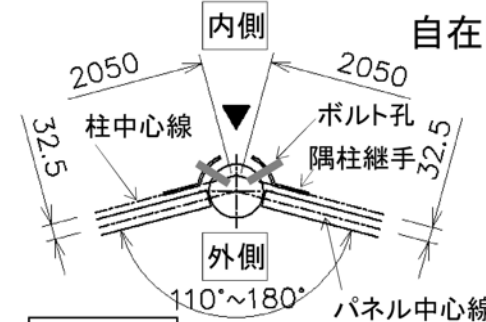


### 自在隅柱A



注) ・自在柱の場合は、柱中心線に対し32.5mmずれた位置(パネル中心線上)が柱中心になります。  
・柱の孔位置は、隅角の1/2を中心に左右に振り分けた位置になります。

### 自在隅柱(入隅)



### 自在隅柱B



注) ・自在柱の場合は、柱中心線に対し32.5mmずれた位置(パネル中心線上)が柱中心になります。  
・柱の孔位置は、隅角の1/2を中心に左右に振り分けた位置になります。  
・入隅の場合は、継手が内側になります。

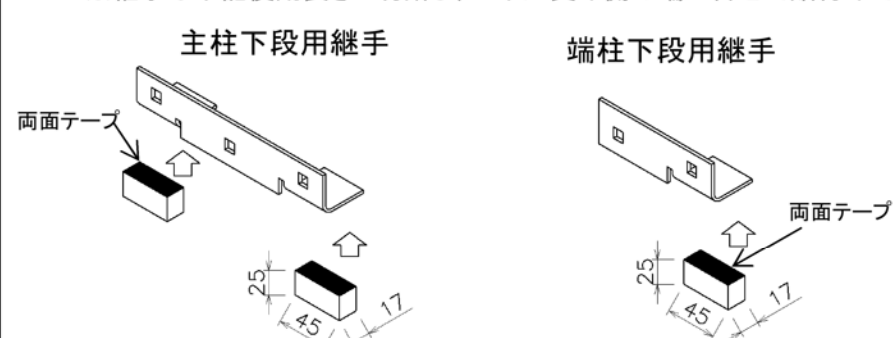
# 目かくしフェンス 遮音タイプ NBF-SY1型 (H2500・H3000)

# 組立説明書

## ③パッキンを貼付けます。(下段用継手・下段パネル・中段パネルのみ) ●カッターをご用意下さい

※パッキンは、1スパン用として長さ2000mmの物が入っていますので、継手及びパネル用として切断して使用して下さい。

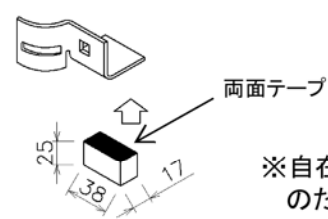
※継手は下記使用長さに切断し、パネル受け側の端に合せて貼付けて下さい。  
**下段パネル** 上胴縁に厚さ3mm、下胴縁に厚さ25mmのパッキンを貼ります。  
**中段パネル** 上胴縁のみ厚さ3mmのパッキンを貼ります。



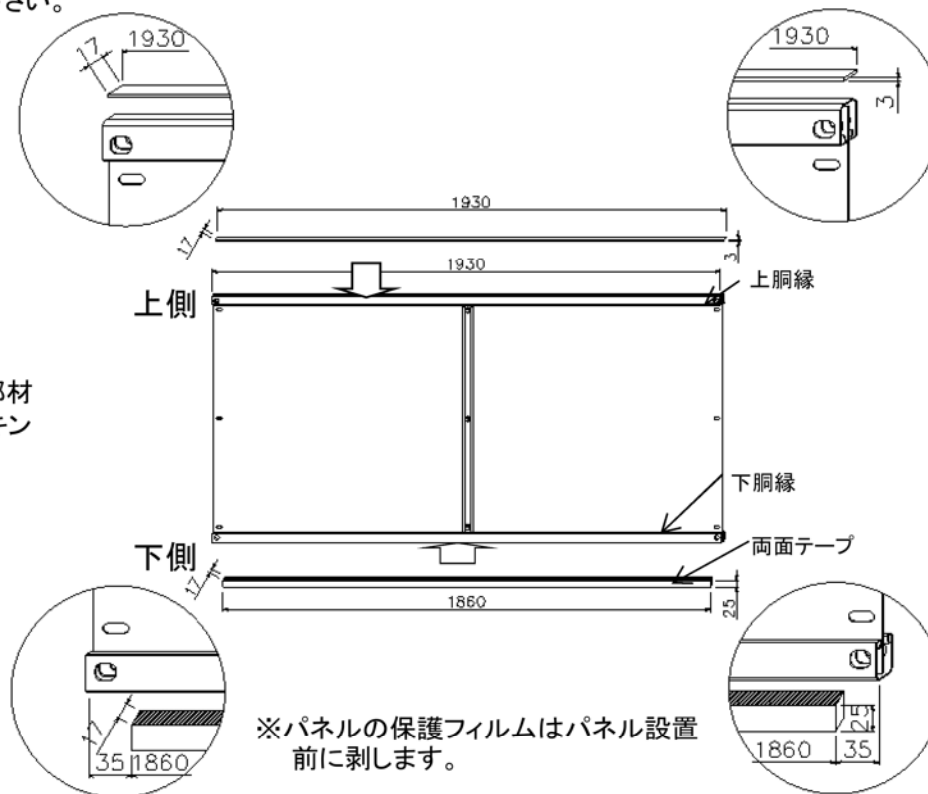
※主柱用継手の上下段は共通部材のため、一つのみパッキンを貼付けて下さい。

※端柱用継手の上下段は右左共通部材のため、左右の端柱に合せてパッキンを貼付けて下さい。(図は左端柱)

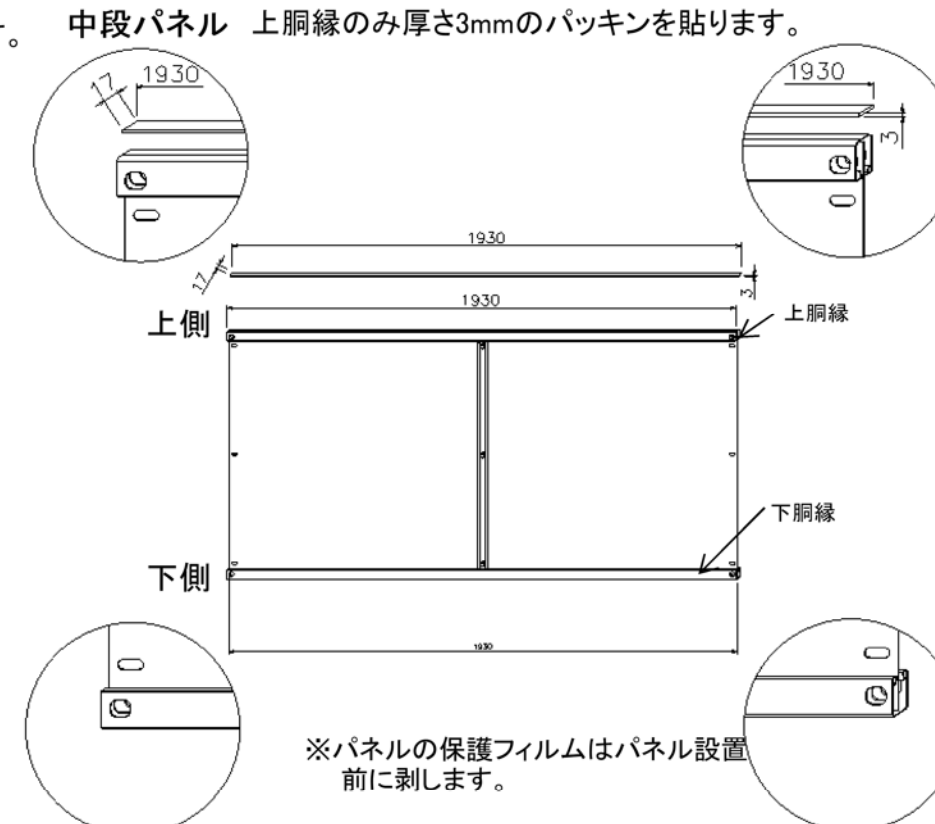
### 自在隅柱下段用継手



※自在隅柱用継手の上下段は共通部材のため、一組のみパッキンを貼付けて下さい。



※パネルの保護フィルムはパネル設置前に剥します。



※パネルの保護フィルムはパネル設置前に剥します。

上段パネル パッキンは貼りません。

## ④自在隅柱接続パネルを組立ます。

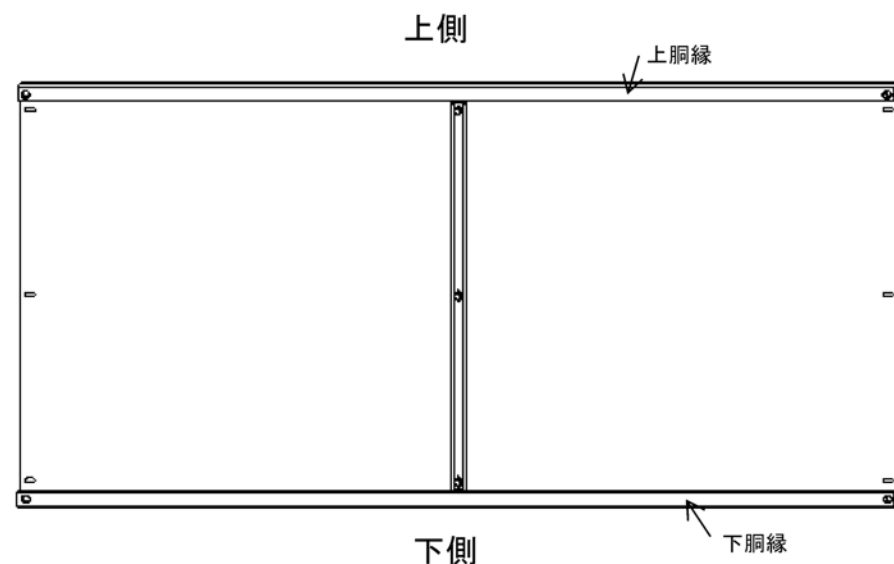
※自在隅柱がある場合のみの組立となります。

### ●自在隅柱と接続する側のみ端部調整板を取付ます。

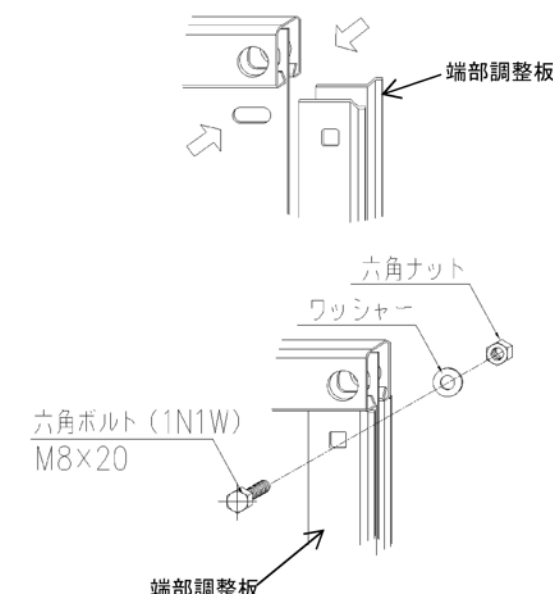
※上段パネル、中段パネル、下段パネル全てに取付ます。

- 1.上下胴縁間に端部が開く状態にして、パネルを挟み込むようにセットします。
- 2.ボルト(六角ボルトM8×20)を仮締め(手締め)します。  
※ボルト頭側が表となります。
- 3.端部調整板をパネル中央側に寄せておきます。  
※ボルトは仮締め(手締め)状態です。

主柱・端柱・90度隅柱側



自在隅柱側



# 目かくしフェンス 遮音タイプ NBF-SY1型 (H2500・H3000)

# 組立説明書

## ⑤ 継手をおよび正面プレートを取付けます。

※注) タッピングボルトは着座したら締結完了です。締め過ぎにご注意下さい。

● 対辺距離13のラチェットまたはインパクトレンチをご用意下さい

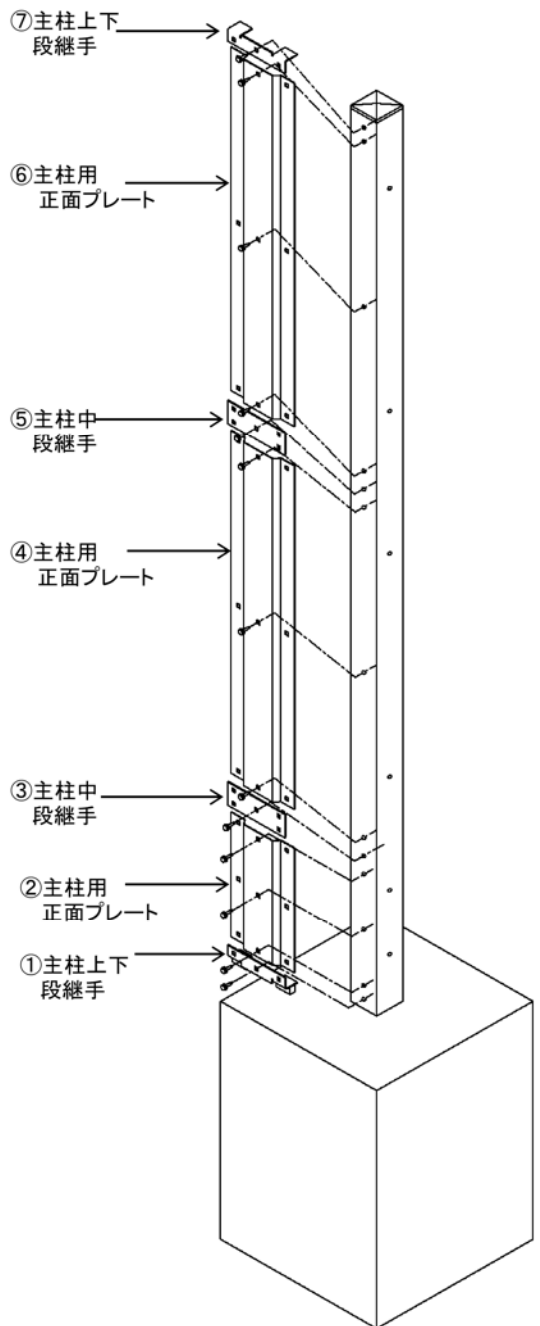
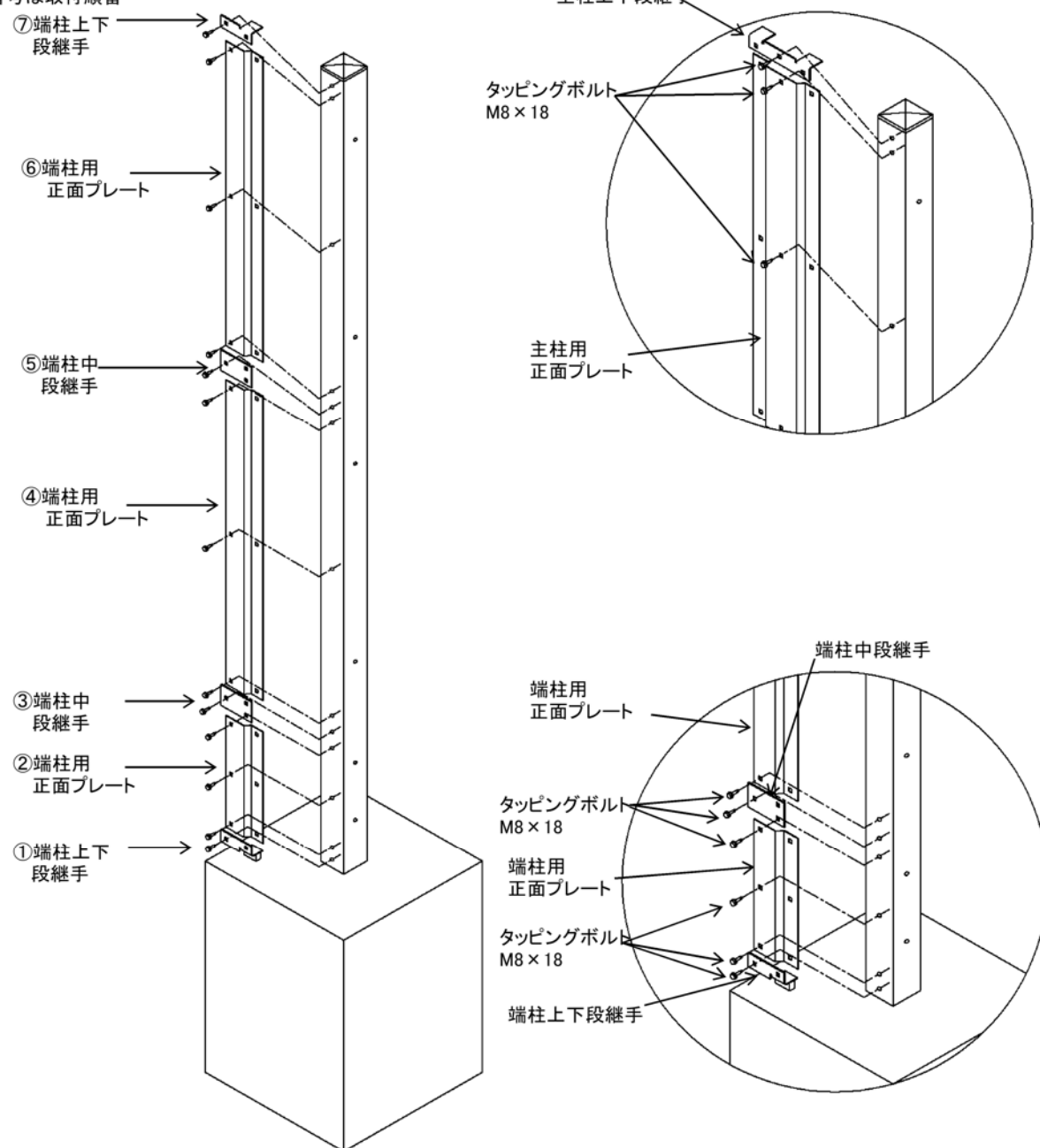
主柱、端柱、90° 隅柱

● 下側より取付けてください。

- ① 下段継手 → ② 下段パネル用正面プレート → ③ 中段継手
- ④ 中段パネル用正面プレート → ⑤ 中段継手
- ⑥ 上段パネル用正面プレート → ⑦ 上段継手

各部材取付後、ラチェットまたはインパクトレンチで本締めして下さい。

※番号は取付順番



※参考> タッピングボルトの締結完了(着座)の確認方法

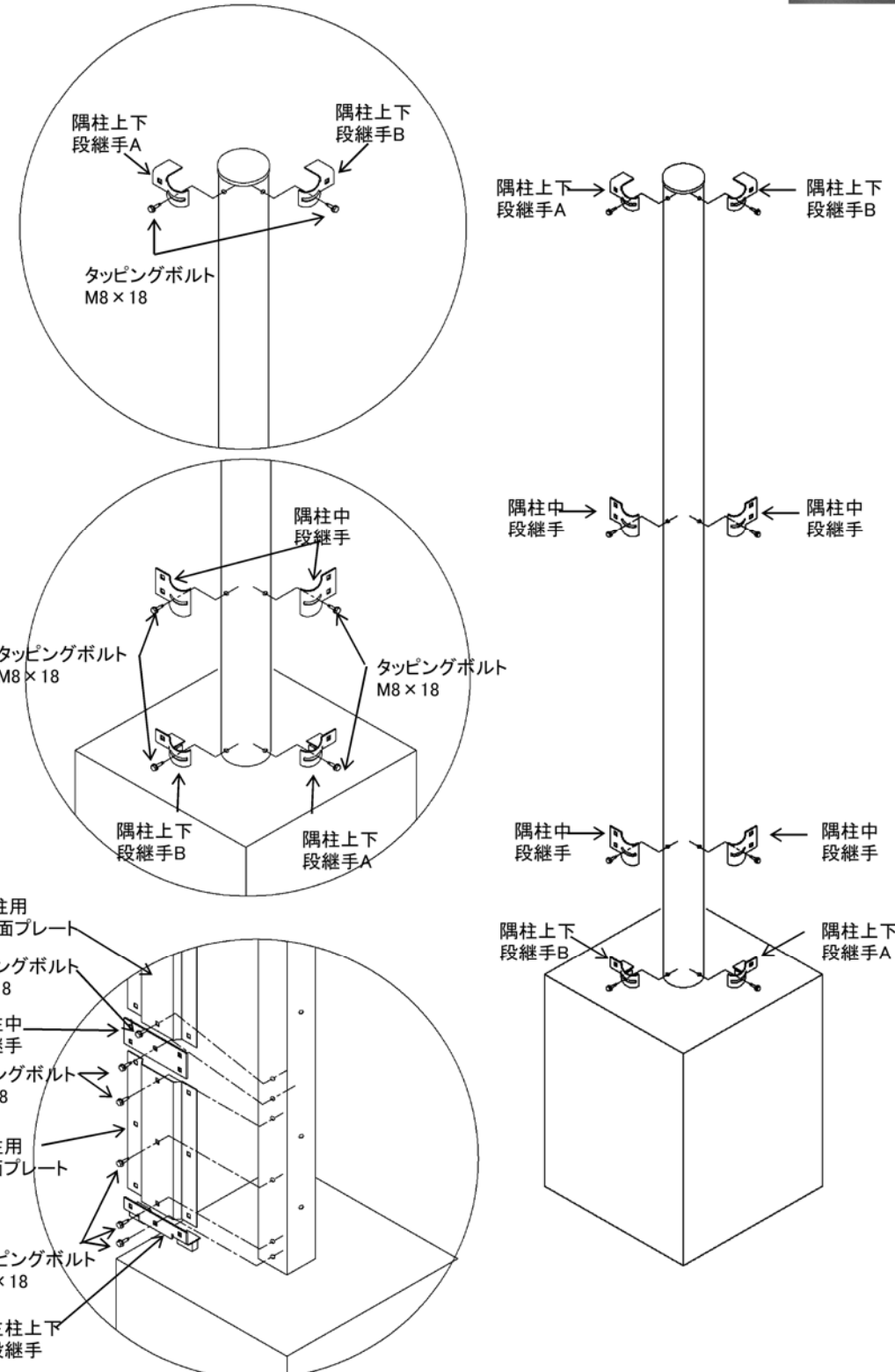
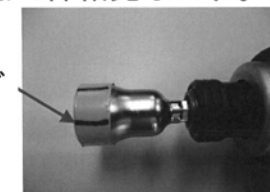
「着座」の目視確認方法として、インパクトドライバ先端のソケットに油性マジックでマーキングを数箇所入れると回転が確認しやすくなります。マーキングが目視で見えて、ソケットの回転が止まった時点で締結完了です。

自在隅柱

※取付順はありません。

各継手取付後、ラチェットまたはインパクトレンチで本締めして下さい。

マーキング

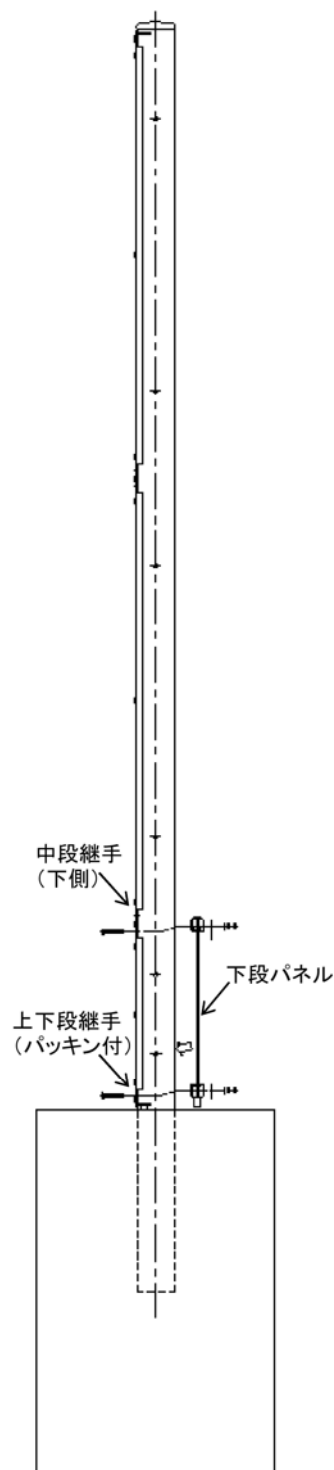


## ⑥ 下段パネルを取付けます。

● 対辺距離13のラチェットをご用意下さい

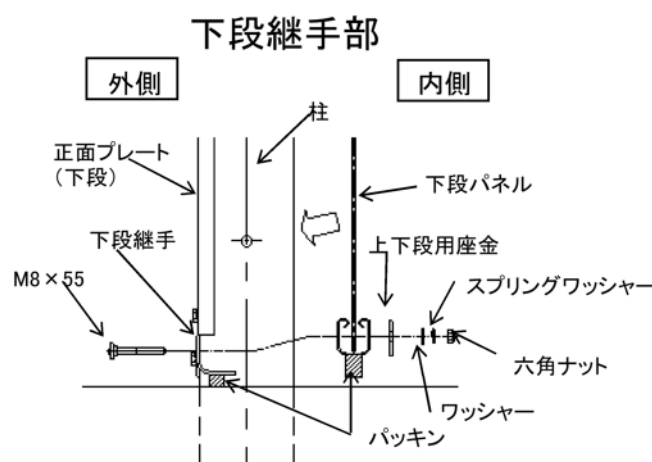
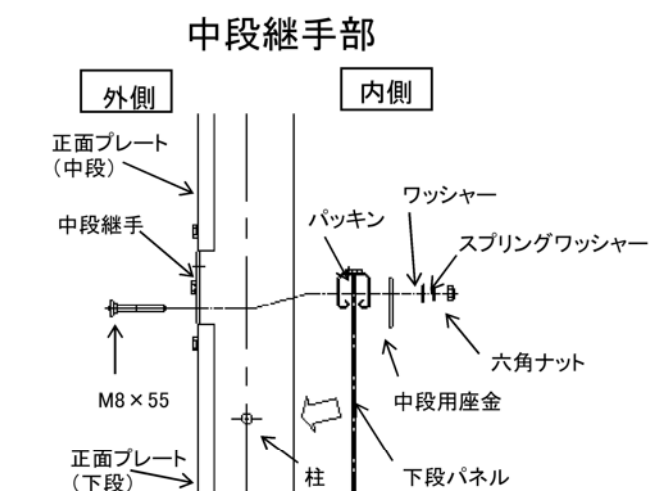
パネルの取付は、支柱・端柱・隅柱のどの位置からでも取付可能です。

下段パネルを先に取付れば、下段・中段・上段の段順でも、下段先行でも可能です。

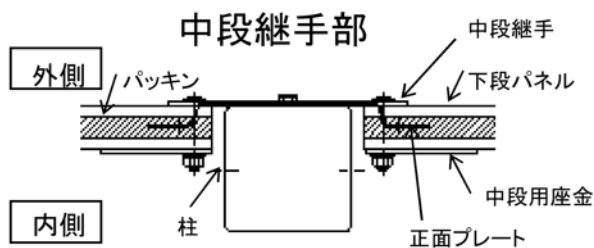


### 1. 下段継手に下段パネルを載せます。

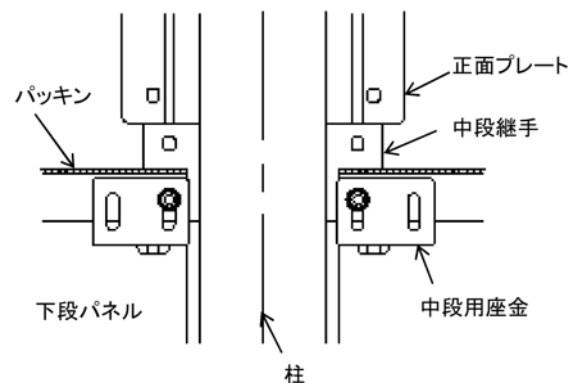
※パネルの保護フィルムを剥がします。



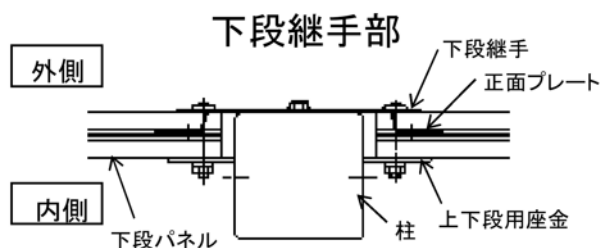
### 2. 中段継手の下側の孔と下段パネルを中段用座金を使いボルトで仮締めします。



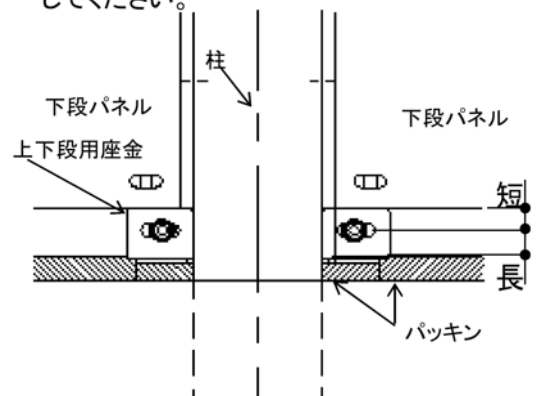
※仮締め時の中段用座金は、図の様に横向きの状態で取付けます。（手締め）



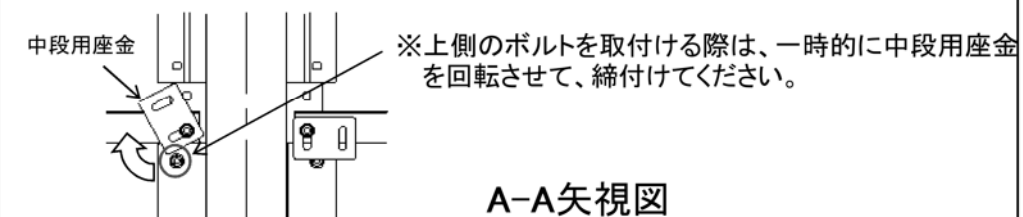
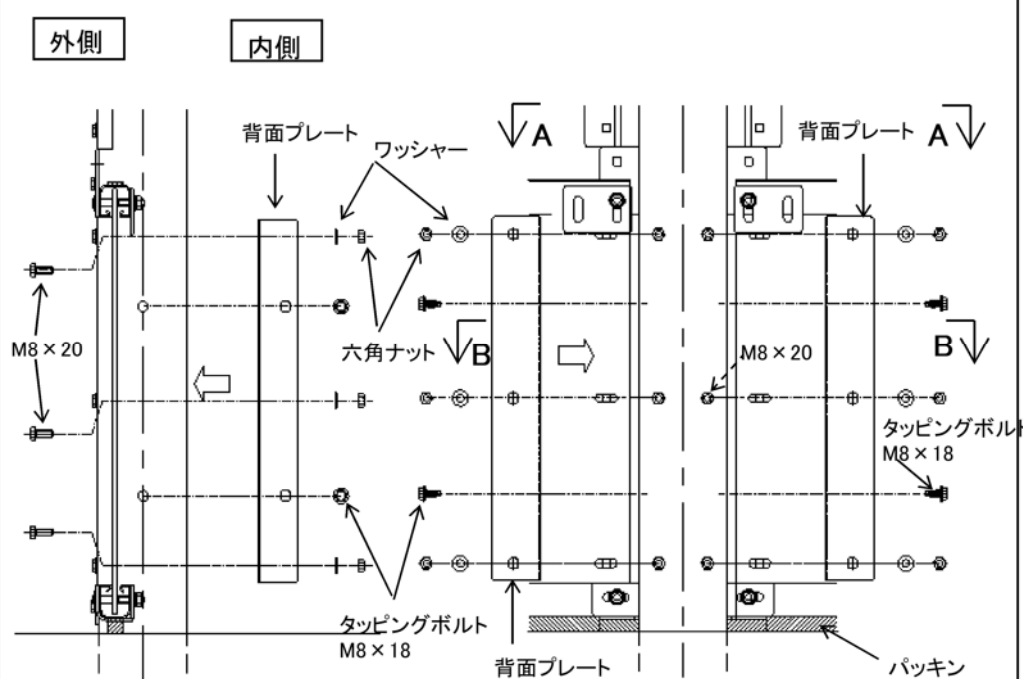
### 3. 下段継手と上下段用座金を使いボルトで本締めします。



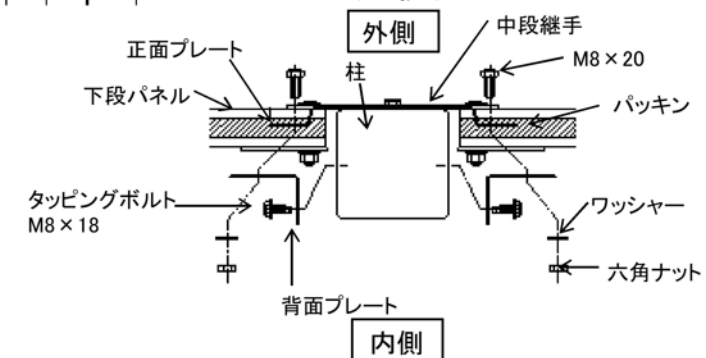
※本締めする際、上下段用座金は、図の様に、柱側に寄せてください。  
 ※座金は、構造上孔位置が図の様に、短・長があります。パネル側（上）が短くなる様に取付けてください。



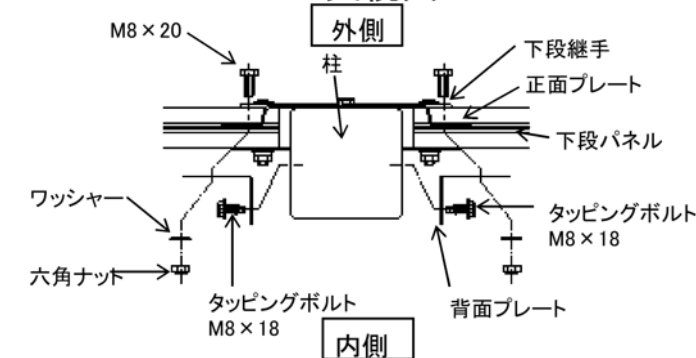
### 4. 背面プレートを取付けます。（本締め）



#### A-A矢視図

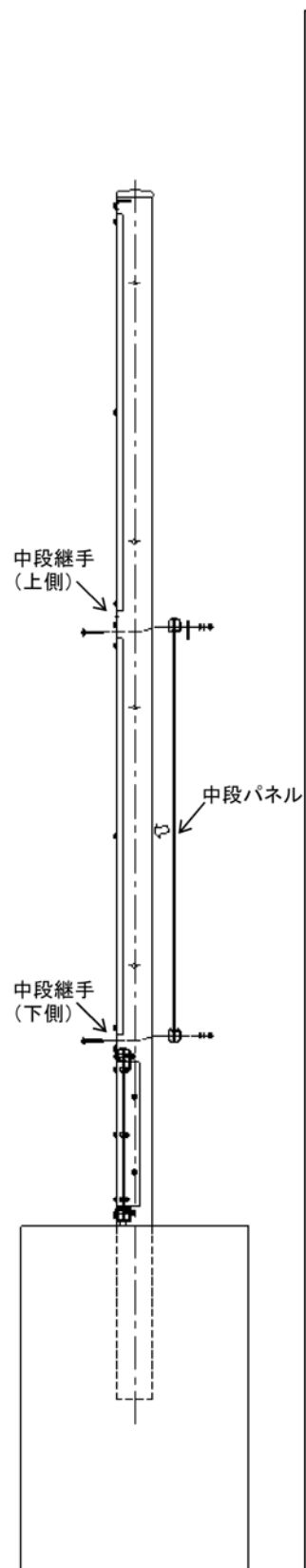


#### B-B矢視図



## ⑦中段パネルを取付けます。

●対辺距離13のラチェットをご用意下さい



1. 下段パネルの上に中段パネルを載せます。  
※パネルの保護フィルムを剥がします。

### 中段継手部(上)

外側 内側

中段継手(上側) パッキン スプリングワッシャー 六角ナット  
M8×55 ワッシャー 中段用座金 柱 中段パネル

### 中段継手部(下)

外側 内側

中段継手(下側) 柱 中段パネル  
ワッシャー スプリングワッシャー 六角ナット  
M8×55 パッキン 中段用座金 (下段に付けた座金を回転して取付ける) 下段パネル

2. 中段継手(上側)の下側の孔と中段パネルを中段用座金を使いボルトで仮締めします。

### 中段継手部(上)

外側 内側

中段継手 中段パネル  
正面プレート 柱 パッキン 中段用座金

※仮締め時の中段用座金は、図の様に横向き  
の状態を取付けます。(手締め)

正面プレート 中段継手 柱 パッキン  
正面プレート 中段用座金 中段パネル

3. 中段継手(下側)の上側の孔と中段パネルを中段用座金を使いボルトで本締めします。

### 中段継手部(下)

外側 内側

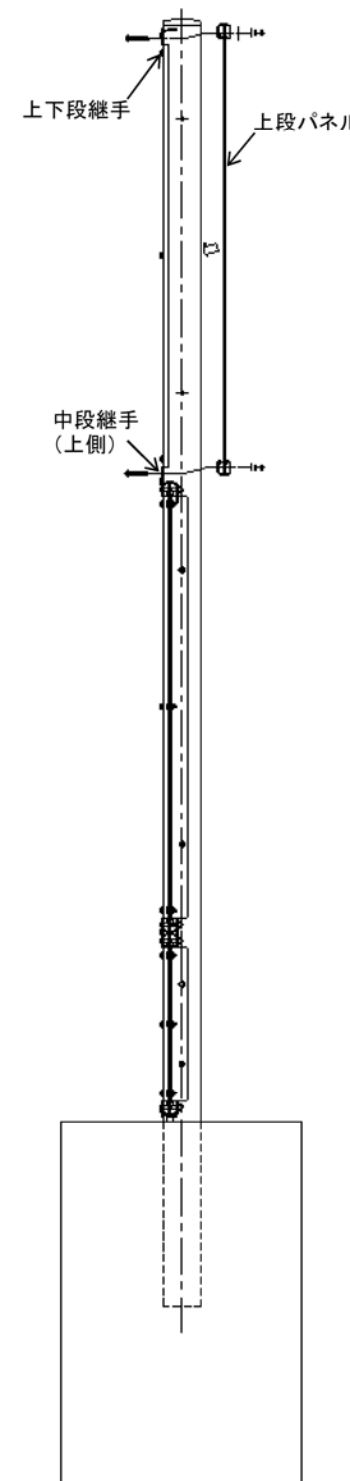
パッキン 中段継手 正面プレート  
柱 中段用座金  
下段パネル 中段パネル

※本締めする際、上下段用座金は、図の様に、  
回転させてから、柱側に寄せてください。

正面プレート 中段パネル  
中段継手 柱 ボルト取付位置 M8×55  
パッキン 中段用座金 中段用座金  
下段パネル

4. 背面プレートを取付ます。(本締め)  
※⑥の4.同様に取付ます。

## ⑧上段パネルを取付けて完成です。



1. 中段パネルの上に上段パネルを載せます。  
※パネルの保護フィルムを剥がします。

### 上段継手部

外側 内側

上下段継手 スプリングワッシャー 六角ナット  
M8×55 ワッシャー 上下段用座金 上段パネル 柱

### 中段継手部(上)

外側 内側

柱 上段パネル  
M8×55 ワッシャー 六角ナット  
中段継手(上側) パッキン 中段用座金 (下段に付けた座金を回転して取付ける) 中段パネル

2. 上段継手の孔と上段パネルを上下段用座金を使いボルトで本締めします。

### 上段継手部

外側 内側

上下段継手 上段パネル  
上下段用座金 柱

※本締めする際、上下段用座金は、図の様に、柱側に寄せてください。  
※座金は、構造上孔位置が図の様に、短・長があります。パネル側(下)が短くなる様に取付けてください。

上下段継手 上下段用座金 長 短 上段パネル 正面プレート 柱

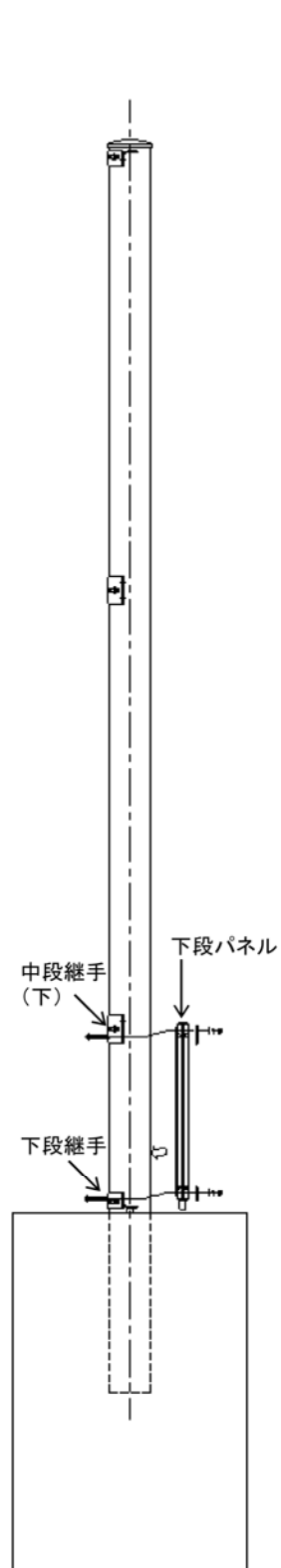
3. 中段継手(上)の上側の孔と上段パネルを中段用座金を使いボルトで本締めします。  
※⑦の3.同様に取付ます。

4. 背面プレートを取付ます。(本締め)  
※⑥の4.同様に取付ます。

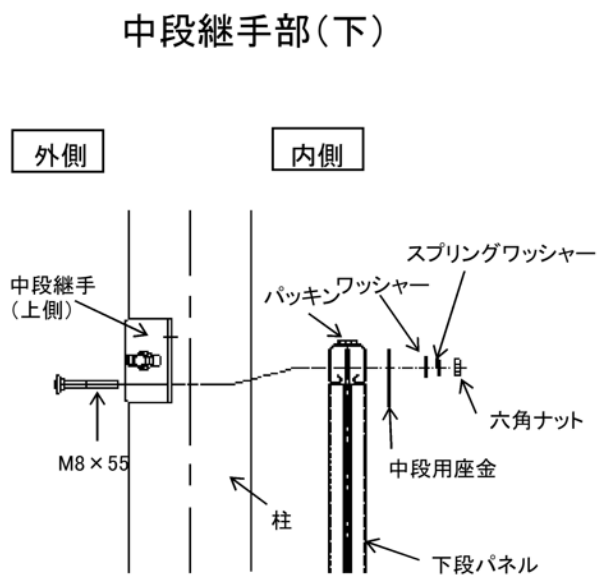
## 自在隅柱部の組立

### A. 下段パネルを取付けます。

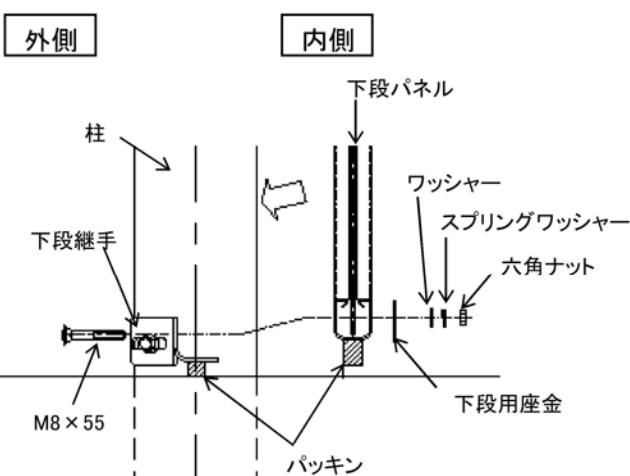
●対辺距離13のラチェットをご用意下さい



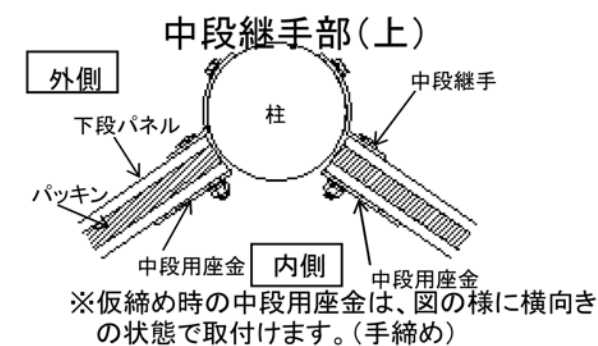
1. 下段継手に下段パネルを載せます。  
※パネルの保護フィルムを剥がします。



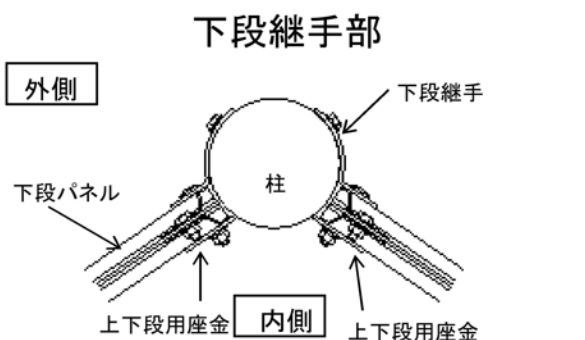
### 下段継手部



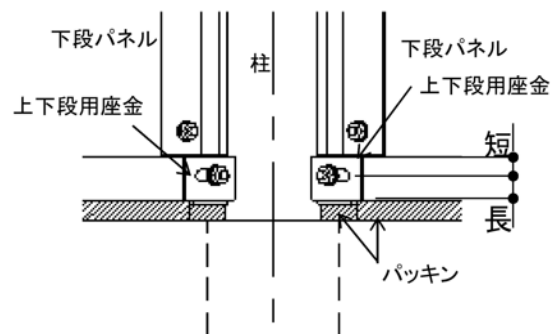
2. 中段継手の下側の孔と下段パネルを中段用座金を使いボルトで仮締めします。



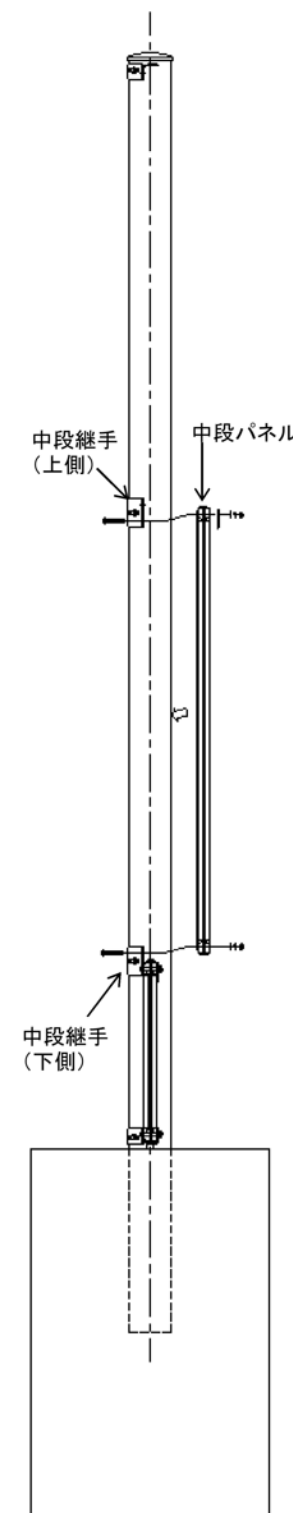
3. 下段継手と上下段用座金を使いボルトで本締めします。



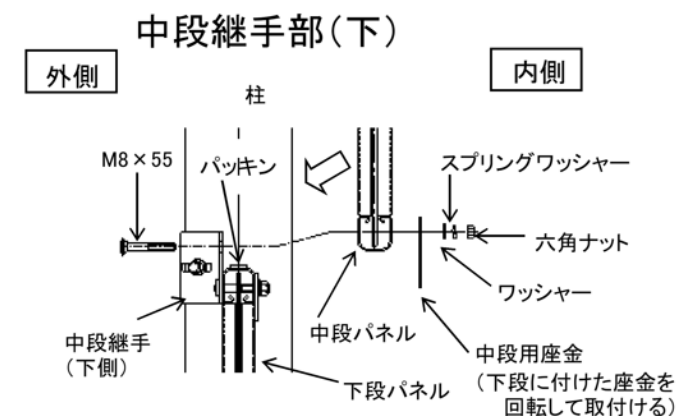
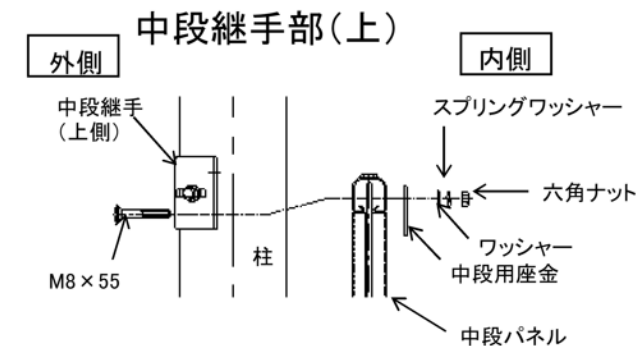
※座金は、構造上孔位置が図の様に、短・長があります。パネル側(上)が短くなる様に取付けてください。



### B. 中段パネルを取付けます。

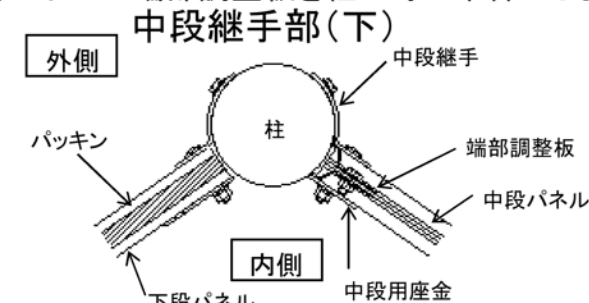


1. 下段パネルの上に中段パネルを載せます。  
※パネルの保護フィルムを剥がします。



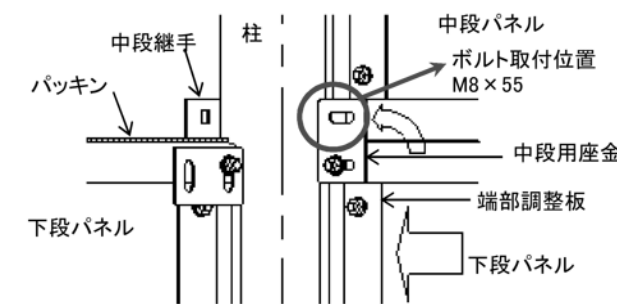
2. 中段継手(上側)の下側の孔と中段パネルを中段用座金を使いボルトで仮締めします。※Aの2.同様に取付ます。

3. 中段継手(下側)の上側の孔と中段パネルを中段用座金を使いボルトで本締めします。  
下段パネルの端部調整板を柱に寄せ本締めします。



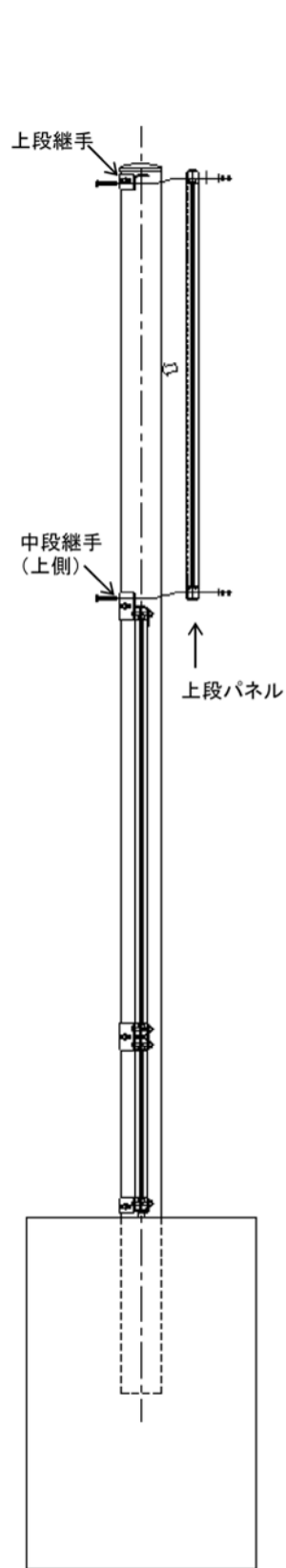
※本締めする際、上下段用座金は、図の様に、回転させてから、柱側寄せてください。

※中段用座金を取付後、下段パネルの端部調整板をボルトを緩めて柱側にスライドさせ、柱と接したらボルトを本締めします。

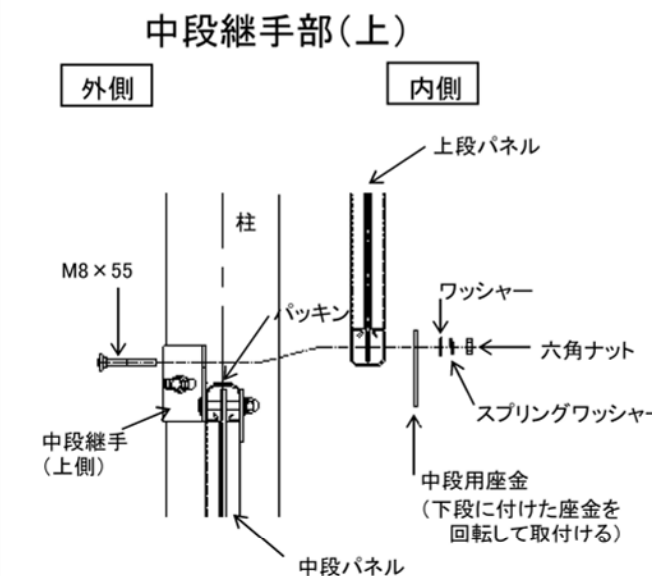
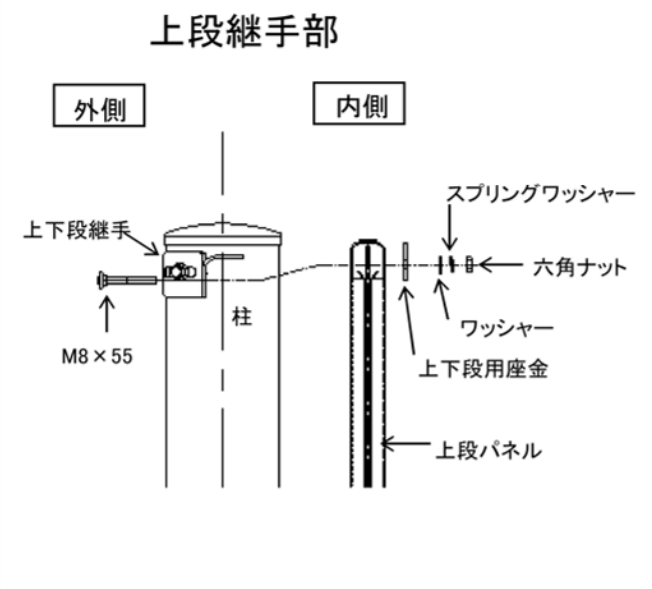


## C. 上段パネルを取付けて完成です。

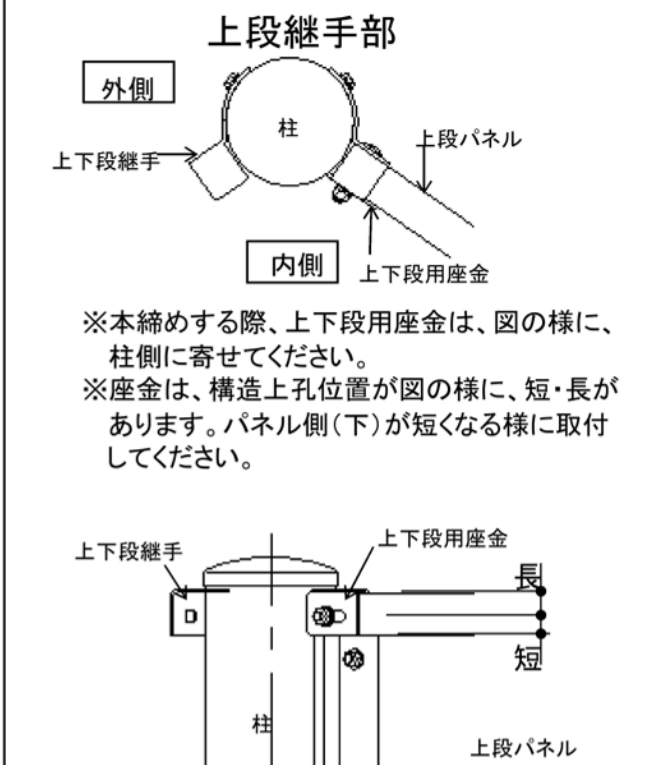
● 対辺距離13のラチェットをご用意下さい



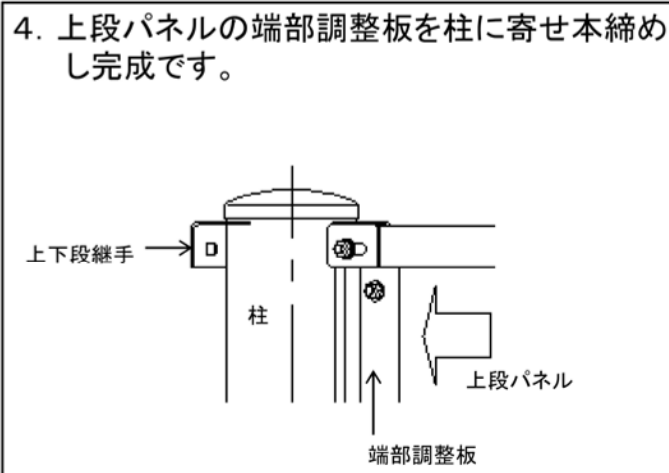
1. 中段パネルの上に上段パネルを載せます。  
※パネルの保護フィルムを剥がします。



2. 上段継手の孔と上段パネルを上下段用座金を使いボルトで本締めします。



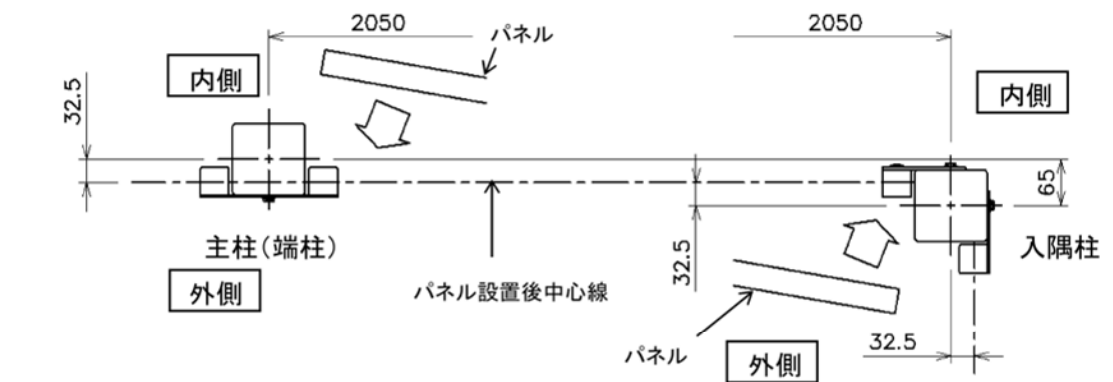
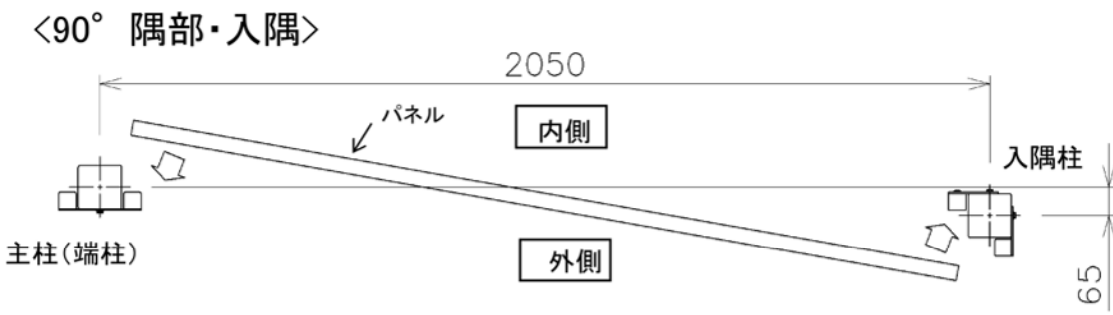
3. 中段継手(上側)の上側の孔と上段パネルを中段用座金を使いボルトで本締めします。中段パネルの端部調整板を柱に寄せ本締めします。  
※Bの3.同様に取付ます。



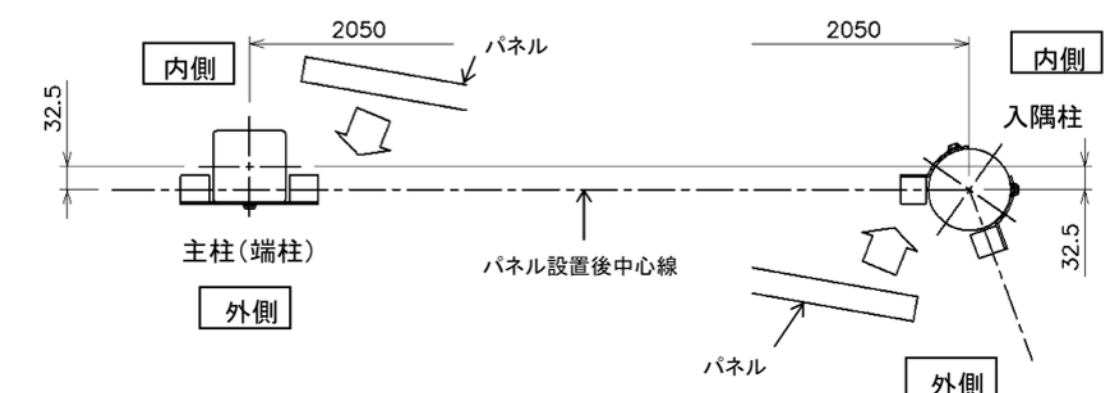
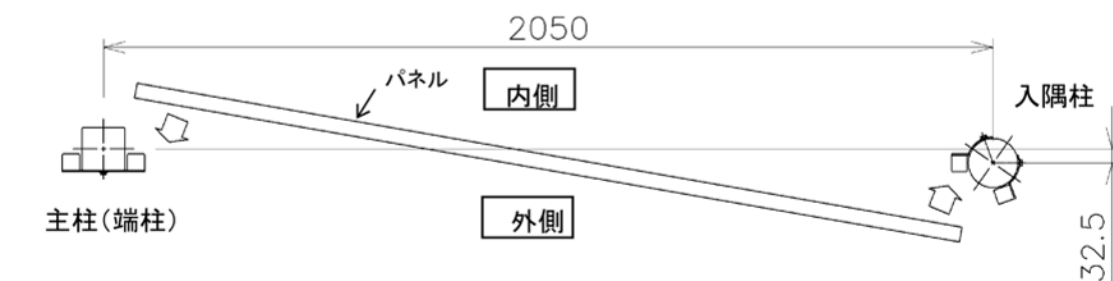
※下段パネルの端部調整板をボルトを緩めて柱側にスライドさせ、柱と接したらボルトを本締めします。

## 入隅のパネルの組立

パネルの取付は、継手に合わせて下図の様に主(端)柱側は内側より、入隅柱側は外側より継手に載せます。(入隅柱の場合は、継手は内側、継手座金は外側にきます。)



## <自在隅部・入隅>

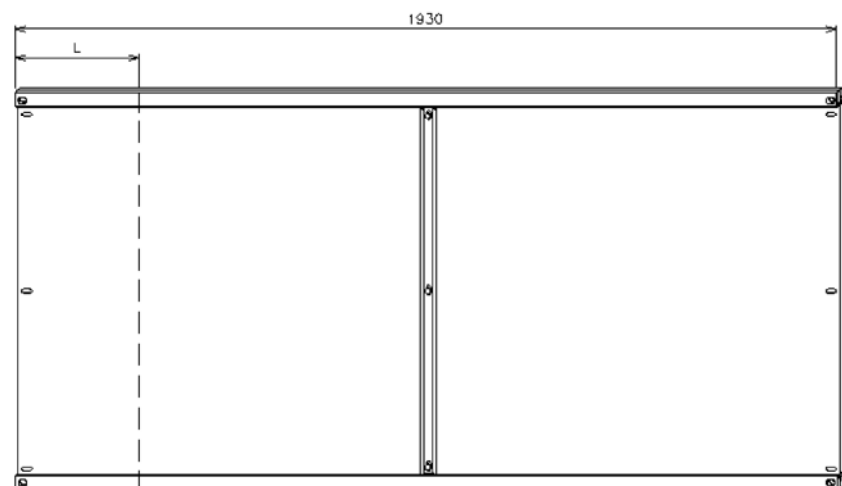


## 端尺パネルの製作手順

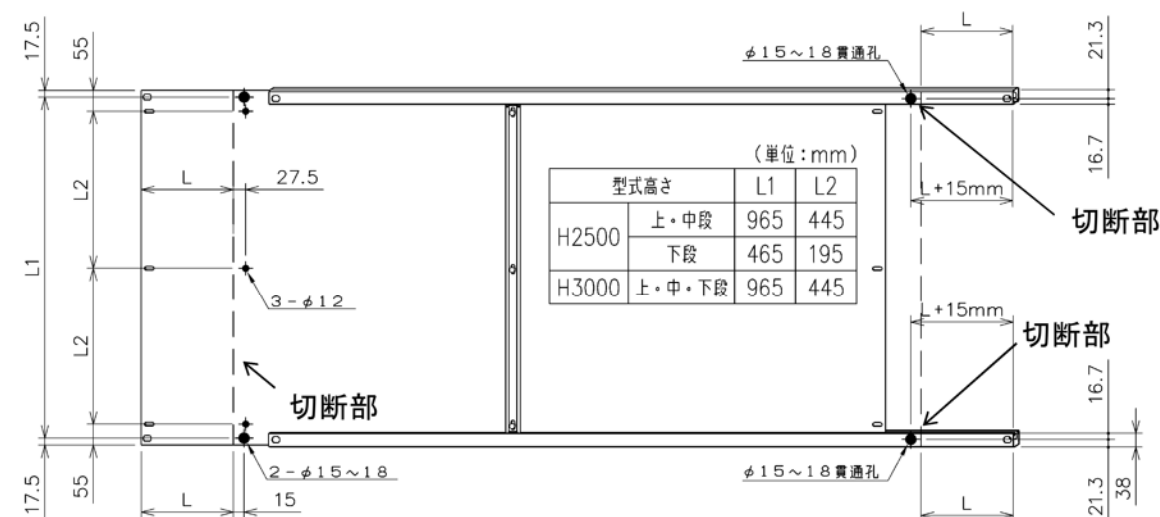
●端尺パネルは現地での製作となります。

例) 柱芯々が1800mmの場合はカット寸法Lは2050mm-1800mm=250mmとなります。)

※切断及び孔明け後は、弊社指定の補修塗料で補修を行って下さい。

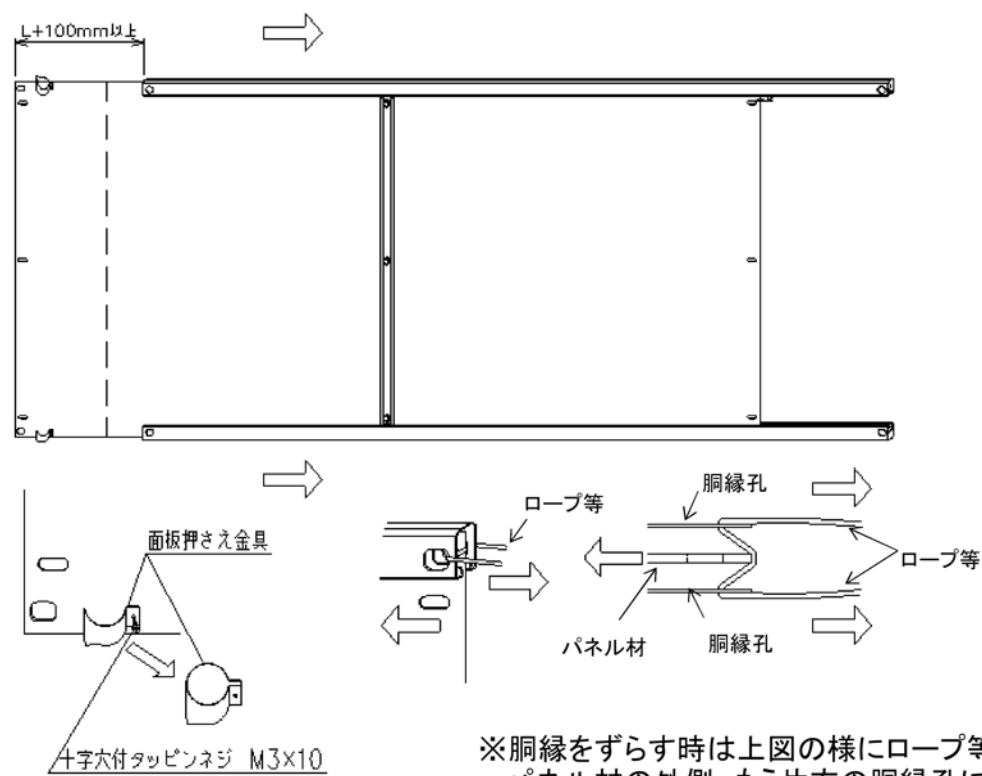


2. パネル及び胴縁の切断・孔明けをします。

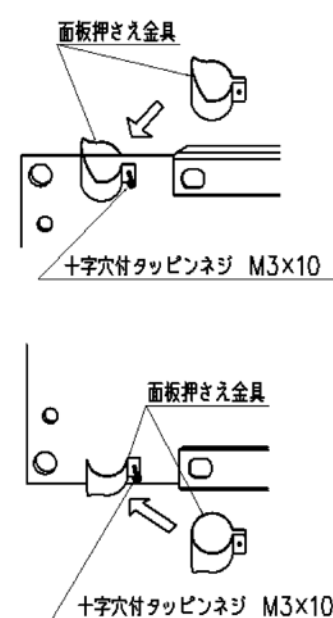


※パネル材の孔は、柱スパンの組立て誤差が2mm以下ならばφ12mmで問題はありませんが、2mm以上であれば現物合わせで孔を明けてください。

1. 胴縁をずらし、面板押さえ金具を外します。

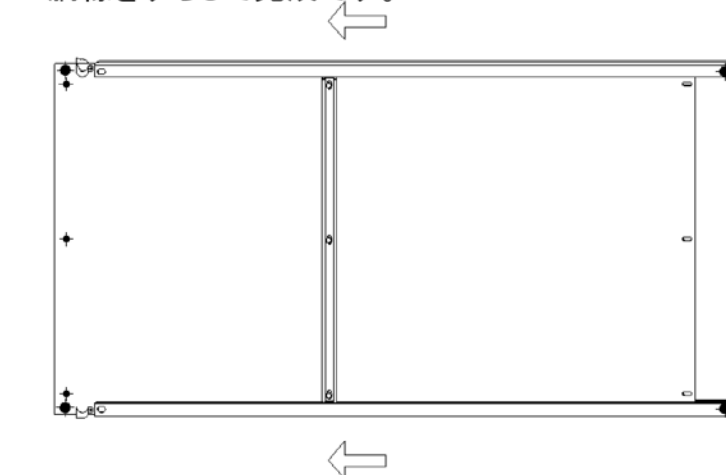


3. 面板押さえ 金具を取付けます。



面板押さえ金具がボルト孔に接しないように取り付けます。

4. 胴縁をずらして完成です。



※自在隅柱部の場合  
パネルを柱に取付後、端部調整板を取付ます。





# 部品数量表

# 目かくしフェンス 遮音タイプ NBF-SY1型 (H2500・H3000)

	品名	寸法・記号	形状	数量	
				H2500	H3000
主柱	① 主柱用正面プレート	1.6×17.6×224×934		2	3
	② 主柱用正面プレート	1.6×17.6×224×434		1	-
	③ 背面プレート	1.6×45×62×934		4	6
	④ 背面プレート	1.6×45×62×434		2	-
	⑤ 主柱上下段継手	3.2×45×41.4×190C		2	2
	⑥ 主柱中段継手	3.2×78×190C		2	2
	⑦ 上下段用座金	3.2×38.4×53C		4	4
	⑧ 中段用座金	3.2×77×53C		4	4
	⑨ 主柱・端柱・継手・プレート取付B	M8×18C		25	25
	⑩ 継手・パネル取付B.N.W.SW	M8×55		12	12
	⑪ 端部調整板 B.N.W	M8×20		18	18
端柱	⑫ 端柱用正面プレート	1.6×17.6×132×934		2	3
	⑬ 端柱用正面プレート	1.6×17.6×132×434		1	-
	③ 背面プレート	1.6×45×62×934		2	3
	④ 背面プレート	1.6×45×62×434		1	-
	⑭ 端柱上下段継手A	3.2×45×41.4×115C		1	1
	⑮ 端柱上下段継手B	3.2×45×41.4×115C		1	1
	⑯ 端柱中段継手	3.2×78×115C		2	2
	⑦ 上下段用座金	3.2×38.4×53C		2	2
	⑧ 中段用座金	3.2×77×53C		2	2
	⑨ 主柱・端柱・継手・プレート取付B	M8×18C		19	19
	⑩ 継手・パネル取付B.N.W.SW	M8×55		6	6
⑪ 端部調整板 B.N.W	M8×20		9	9	
90度隅柱	⑫ 端柱用正面プレート	1.6×17.6×132×934		4	6
	⑬ 端柱用正面プレート	1.6×17.6×132×434		2	-
	③ 背面プレート	1.6×45×62×934		4	6
	④ 背面プレート	1.6×45×62×434		2	-
	⑭ 端柱上下段継手A	3.2×45×41.4×115C		2	2

	品名	寸法・記号	形状	数量		
				H2500	H3000	
90度隅柱	⑮ 端柱上下段継手B	3.2×45×41.4×115C		2	2	
	⑯ 端柱中段継手	3.2×78×115C		4	4	
	⑦ 上下段用座金	3.2×38.4×53C		4	4	
	⑧ 中段用座金	3.2×77×53C		4	4	
	⑨ 主柱・端柱・継手・プレート取付B	M8×18C		38	38	
	⑩ 継手・パネル取付B.N.W.SW	M8×55		12	12	
	⑪ 端部調整板 B.N.W	M8×20		18	18	
	自在隅柱(A・B)	⑰ 端部調整板	1.6×58.8×16×934C		8	12
		⑱ 端部調整板	1.6×58.8×16×434C		4	-
		⑲ 隅柱上下段継手A	3.2×45×41.4×92.9C		2	2
		⑳ 隅柱上下段継手B	3.2×45×41.4×92.9C		2	2
21 隅柱中段継手		3.2×78×92.9C		4	4	
⑦ 上下段用座金		3.2×38.4×53C		4	4	
⑧ 中段用座金		3.2×77×53C		4	4	
⑨ 主柱・端柱・継手・プレート取付B		M8×18C		8	8	
⑩ 継手・パネル取付B.N.W.SW		M8×55		12	12	
⑪ 端部調整板 B.N.W		M8×20		18	18	

パネル	品名	寸法・記号	形状	数量	
				H2500	H3000
⑮	底部パッキン	25t×17×2m		1	1
	中間パッキン	3t×17×2m		2	2

## 注意

### ●施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

### ●取扱い注意点

- ①標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。